

1. 岡本国際賞(International Okamoto Award)

- 昭和 62 年度 Dr. Michael J. Brody 米・アイオワ大学
「高血圧の成因に関する研究」
- 平成元年度 Dr. Walter Lovenberg 米・メレル・ダウ国際研究所
「高血圧の成因・予防、治療に関する研究」
- 平成元年度 中島 宏 博士 WHO 事務局長
「循環器疾患の予防ならびにその基礎的研究の振興」
- 平成 2 年度 Dr. Jean Sassard 仏・リヨン大学
「遺伝性高血圧の成因と病態生理に関する研究」
- 平成 3 年度 Dr. Detlev Ganten 独・ハイデルベルグ大学
「高血圧の成因に関する遺伝分子生物学的研究」
- 平成 4 年度 家森 幸男 博士 島根医科大学
「高血圧性循環器疾患の成因と予防に関する基礎的研究」
- 平成 5 年度 Dr. Edward D. Frohlich 米・アルトンオックスナー研究所
「高血圧の病因、病態生理と治療に関する研究」
- 平成 6 年度 増山 善明 博士 和歌山県立医科大学名誉教授
「高血圧の成因における神経・血管性因子に関する研究」
- 平成 7 年度 稲上 正 博士 米・バンダービルド大学
「レニン・アンギオテンシン系に関する生化学的、分子生物学
的、研究の開拓、展開」
- 平成 8 年度 松尾 壽之 博士 国立循環器病センター
「循環調節に係るナトリウム利尿ホルモンの発見とその意義に
ついての研究」
- 平成 9 年度 眞崎 知生 博士 国立循環器病センター
「血管収縮因子エンドセリンの発見とその機能の解明ならびに
各種筋蛋白質の確立に関する研究」
- 平成 10 年度 Dr. Russell Ross 米・ワシントン大学
「“Response-to-Injury Hypothesis of Atherosclerosis” の提唱
ならびに血小板由来成長因子の発見など粥状硬化形成に関する
研究」
- 平成 11 年度 荒川規矩男 博士 福岡大学
「ヒト・アンギオテンシンの研究、高血圧の運動療法をはじめ
成人血管病に関する卓越せる研究業績」
- 平成 12 年度 Dr. Oliver Smithies 米・ノースカロライナ大学
「成人血管病の分子遺伝学的研究を開拓せる功績」
- 平成 13 年度 村上 和雄 博士 筑波大学名誉教授
「遺伝子工学的、発生工学的方法を駆使したレニン・アンギオ
テンシン系の分子的基礎の解明」

- 平成 14 年度 寒川 賢治 博士 国立循環器病センター
「独自に考案した方法による各種生理活性ペプチドの発見とそれを基盤とした循環調節系研究の新分野開拓」
- 平成 15 年度 Dr. Marc A. Pfeffer 米・ハーバード大学
「心筋傷害に際する異常適応過程として“ventricular remodeling”の概念提唱と ACE 阻害薬によるその防止に関する研究」
- 平成 16 年度 Dr. Antonio M. Gotto, Jr. 米・コーネル大学
「リポ蛋白質の構造、代謝、機能の解析を中心とするリポ蛋白質、動脈硬化に関する広範な研究」
- 平成 17 年度 中尾 一和 博士 京都大学
「ナトリウム利尿ペプチドについて基礎ならびに基礎から臨床展開に互っての広汎なる研究」
- 平成 18 年度 Dr. Michael A. Gimbrone, Jr. 米・ハーバード大学
「血管の生物学的、病態生理学的機能に関する研究方法の開発と分子遺伝子学的研究に対する貢献」
- 平成 19 年度 荻原 俊男 博士 大阪大学名誉教授
「高血圧の病態・成因に関する分子遺伝学的研究」
- 平成 20 年度 Dr. Pavel Hamet 加・モントリオール大学
「ヒトと遺伝性高血圧モデルにおける高血圧の発症機構に関する分子病態生理学的、遺伝学的研究」
- 平成 21 年度 鍋島 陽一 博士 京都大学
「健康維持と疾患発症の遺伝子分子学的機序に関するモデル動物による研究」
- 平成 22 年度 Dr. Peter Libby 米・ハーバード大学
「血管病における炎症と免疫の役割」
- (記念特別賞) Dr. Theodore W. Kurtz 米・カリフォルニア大学
「自然発症高血圧ラットの分子遺伝学」
- 平成 23 年度 成宮 周 博士 京都大学
「各種プロスタグランジン受容体の同定と機能の解明」
- 平成 24 年度 Dr. Nilesh Jayantilal Samani 英・レスター大学
「心血管疾患の遺伝学」
- 平成 25 年度 藤田 敏郎 博士 東京大学先端科学技術研究センター
「食塩感受性高血圧の成因」
- 平成 26 年度 Dr. Eric N. Olson 米・テキサス大学サウスウェスタン医療センター
「心臓血管系の制御発達、疾患および修復を制御する調節遺伝子の発見およびそのメカニズム」
- 平成 27 年度 永井 良三 博士 自治医科大学
「心血管系、及び代謝臓器の機能連関に関する分子細胞生物学的研究」

- 平成 28 年度 Sir. Rory Collins 英・オックスフォード大学
「心血管疾患の疫学と治療の知識を変えた大規模な臨床試験の
設計、実施と分析」
- 平成 30 年度 湊 長博 博士 京都大学
「免疫老化および癌免疫のメカニズムの解明」
- 2020 年度 今井眞一郎 博士 米・ワシントン大学
「NAD⁺/sirtuin による全身の老化・長寿の制御機構を解明し
nicotinamide mononucleotide を使った抗老化介入効果の検
証」

2. 岡本研究奨励賞 (Young Investigator Okamoto Award)

- 昭和 62 年度 津田 和志 博士 和歌山県立医科大学
「高血圧における神経血管性因子および膜異常」
- 武田 和夫 博士 京都府立医科大学
「脳内カテコールアミンノイロン」
- 中尾 一和 博士 京都大学
「ホルモン及び心房性ナトリウム利尿性ポリペプチドの意義とその臨床応用」
- 山田 静雄 博士 静岡県立大学
「高血圧症と中枢アドレナリン受容体特性の解析」
- 高田 豊 博士 九州大学
「高血圧と血管内皮依存性弛緩物質の役割」
- 杉山 卓郎 博士 東京大学
「高血圧発症機序と血管平滑筋細胞内カルシウムイオン」
- 昭和 63 年度 丹羽 正美 博士 長崎大学
「SHR におけるペプチド性情報伝達物質受容体の解析」
- 笹原 正清 博士 滋賀医科大学
「高血圧下における大動脈内皮細胞の機能的変化に関する研究」
- 岡 芳知 博士 東京大学
「糖尿病における心房性 Na 利尿ホルモンおよび消化管ホルモンの動態に関する研究」
- 武村 次郎 博士 宮崎医科大学
「インスリンの糖輸送促進機構の解析 特に糖輸送担体蛋白との関連」
- 平成元年度 雪村 時人 博士 大阪市立大学
「エンドセリンと腎プロスタグランジンに関する研究」
- Dr. G.L.Engelman 米・クリーブランドクリニック
「SHR 新生仔における心臓の発達に関する研究」
- 平成 2 年度 佐久間一郎 博士 北海道大学
「内皮細胞由来血管平滑筋弛緩因子と高血圧」
- 富樫 廣子 博士 北海道大学
「SHRSP の病態生理と薬理学的応用」
- 平成 3 年度 太田 善夫 博士 近畿大学
「M-SHRSP、SHRSP における降圧剤の効果と血管病変治癒効果との関係」
- 高橋 伯夫 博士 京都府立医科大学
「血管内皮由来の血管拡張因子の血圧調節に及ぼす影響」
- 福田 昇 博士 加・モントリオール大学
「高血圧症の血管平滑筋細胞の増殖と内因性 TGF の役割」

- 平成 4 年度 上山 敬司 博士 和歌山県立医科大学
「高血圧の交感神経機能亢進における神経成長因子の役割に関する研究—特に神経成長因子受容体の検討」
- 西 重生 博士 浜松医科大学
「糖尿病及びその血管合併症におけるグルコキナーゼ遺伝子異常の意義」
- 平成 5 年度 深水 昭吉 博士 筑波大学
「ヒトレニン・アンジオテンシン系遺伝子導入マウス—つくば高血圧マウス—の創作」
- 荒井 宏司 博士 京都大学
「エンドセリン受容体の血管代謝における意義に関する分子生物学的研究」
- 平成 6 年度 伊藤 裕 博士 京都大学
「血管壁ナトリウム利尿ペプチド系」の臨床的意義に関する分子生物学的、発生工学的研究と、遺伝子治療への応用」
- Dr. Klaus Lindpaintner**
「遺伝的に高血圧のラットにおけるナトリウム感受性に関連した第 6 染色体上の主要遺伝子座の同定」
- 森下 竜一 博士 大阪大学
「血管への *in vivo* 遺伝子導入法(HCJ-リポゾーム法)の応用による血管作動物質の機能解明と治療への応用」
- 佐藤 利昭 博士 島根医科大学
「脳卒中易発症高血圧自然発症ラット (SHR SP) における、糖尿病の骨粗鬆症促進」
- 山下 静也 博士 大阪大学
「コレステロールエステル転送蛋白 (CETP) 遺伝子異常の集積する地域集団の発見と、それに基づく CETP の臨床的意義に関する検討—Omagari Study—」
- 平成 7 年度 江頭 健輔 博士 九州大学
「冠循環の病態生理に関する臨床ならびに実験研究」
- 小川 佳宏 博士 京都大学
「脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)の循環調節における生理的、病態生理的意義に関する研究」
- 栗原 裕基 博士 東京大学
「発生工学によるエンドセリンの生理的役割の解明と心血管病の遺伝子治療への応用」
- 細田 公則 博士 京都大学
「Gene Targeting によるエンドセリンの成人血管病における病態生理的意義の研究」

- 宮内 卓 博士 筑波大学
「心疾患あるいは肺疾患による肺高血圧症におけるエンドセリンの病態生理的役割の解明とその拮抗薬を用いた新しい治療法の開発に関する基礎的研究」
- 平成 8 年度 岩井 直温 博士 滋賀医科大学
「高血圧及び高血圧合併症の成因解明」
- 北村 和雄 博士 宮崎医科大学
「新しい循環調節因子“アドレノデュメリン”と“PAMP”の発見」
- 小室 一成 博士 東京大学
「高血圧による心肥大発生機序の分子生物学的研究」
- 齋藤 能彦 博士 京都大学
「心臓血管ホルモンの心室リモデリングにおける病態的意義に関する研究」
- 松原 弘明 博士 関西医科大学
「分子・個体レベルでのアンジオテンシンⅡ受容体作用の解析—転写調節核蛋白の同定と遺伝子操作動物を用いた研究—」
- 平成 9 年度 野出 孝一 博士 大阪大学
「心筋虚血における血管内皮由来弛緩因子の作用機構の解明」
- 向山 政志 博士 京都大学
「循環調節における心臓血管ホルモンおよび受容体の病態生理的意義に関する研究」
- 山崎 力 博士 東京大学保健管理センター
「高血圧負荷及び液性因子負荷によって生じる心肥大・心不全の発生機序の解析と治療法への応用」
- 平成 10 年度 石川 義弘 博士 横浜市立大学
「心血管系 cAMP シグナルの特異性に関する研究」
- 今村 武志 博士 (財) 癌研究会癌研究所
「血管の機能における TGF- β シグナルの役割に関する研究」
- 益崎 裕章 博士 京都大学
「肥満遺伝子産物 (レプチン) の成人血管病における病態生理学的意義に関する研究」
- 吉村 道博 博士 熊本大学
「本態性高血圧発症原因の分子メカニズム (アンジオテンシンノーゲンの遺伝子多型と発現への影響)」
- 柳内 和幸 博士 筑波大学
「冠攣縮の発症機序における分子遺伝学的研究」
- 平成 11 年度 勝谷 友宏 博士 大阪大学
「高血圧モデルラットおよびヒト集団を用いた高血圧感受性遺伝子に関する研究」
- 寺田 典生 博士 東京医科歯科大学
「成人血管病の腎病変における MAP kinase family と細胞周期調節」

- 平野 賢一 博士 大阪大学
「動脈硬化防御機構、コレステロール逆転送系の分子機構に関する研究」
- 村澤 聡 博士 関西医科大学
「心血管病態におけるアンジオテンシンⅡ受容体作用の解析(分子・個体レベルでの検討)」
- 矢富 裕 博士 山梨医科大学
「活性化血小板由来生理活性脂質スフィンゴシン 1-リン酸の血管生物学における役割の解明」
- 平成 12 年度 加藤 規弘 博士 帝京大学
「高血圧ラットおよびヒトにおける高血圧の分子遺伝学的研究」
- 佐田 政隆 博士 東京大学
「血管内皮細胞上 Fas リガンドによる炎症細胞血管外浸潤の制御に関する研究」
- 沢村 達也 博士 国立循環器病センター研究所
「内皮細胞の酸化 LDL 受容体 (LOX-1) の発見とその意義の解明」
- 室原 豊明 博士 久留米大学循環器病研究所
「細胞移植による血管新生療法 —再生医学への応用—」
- 森 潔 博士 京都大学
「成人血管病とその腎合併症における細胞外機能分子の意義の解析」
- 平成 13 年度 市來 俊弘 博士 九州大学
「アンジオテンシンⅡ受容体の発現制御機構とその機能解析」
- 酒井 寿郎 博士 東北大学
「転写調節因子 SREBP によるコレステロールホメオスタシス機構の分子生物学的解明」
- 寺内 康夫 博士 東京大学
「発生工学を用いた 2 型糖尿病の分子機構の解析」
- 平成 14 年度 富田奈留也 博士 大阪大学
「難治性腎疾患に対する遺伝子導入を応用した治療戦略の確立」
- 西川 武志 博士 熊本大学
「糖尿病性血管合併症の新規発症機序の同定」
- 三木 隆司 博士 千葉大学
「ATP 感受性 K⁺チャンネルの生理的役割の解明と病態モデルの作製」
- 柳田 素子 博士 科学技術振興事業団
「糖尿病性腎症の進展増悪因子 Gas6 の機能解析」
- 山下 潤 博士 京都大学
「胚性幹細胞(ES 細胞)を用いた新しい in vitro 血管分化系の構築と血管再生への応用」
- 平成 15 年度 小島 宏建 博士 東京大学
「一酸化窒素感受性蛍光色素の創製」

- 真田 昌爾 博士 日本学術振興会 特別研究員
「慢性 NO 産生阻害ラットを用いた高血圧性心肥大の分子シグナル伝達機構の解明」
- 永谷 憲歳 博士 国立循環器病センター
「新規循環調節ペプチドの病態生理学的意義の解明とその臨床応用に関する研究」
- 南学 正臣 博士 東京大学
「SHR 糖尿病自然発症ラットにおけるカルボニルストレスの病態生理学的役割」
- 南野 徹 博士 千葉大学
「血管老化のメカニズムの解明」
- 平成 16 年度 石田 達郎 博士 神戸大学
「HDL 代謝と動脈硬化の成因における血管内皮リパーゼの作用」
- 鈴木 淳一 博士 東京医科歯科大学
「動脈硬化における炎症の関与と遺伝子導入によるその制御：基礎的検討と臨床応用」
- 野上 恵嗣 博士 奈良県立医科大学
「血液凝固第Ⅷ因子の活性化および不活性化機構の解明とその抗血栓療法への応用」
- 野中 英美 博士 神戸大学
「循環器疾患における生体時計の機能解析」
- 平成 17 年度 尾池 雄一 博士 慶應義塾大学
「血管新生因子 AGF の同定と抗肥満・抗糖尿病の新規治療標的分子としての再発見及びその機能解析」
- 王 英正 博士 京都大学医学部探索医療センター
「心臓内心筋幹細胞の発見と臨床応用に向けた新たな細胞療法の開発」
- 新藤 隆行 博士 信州大学
「疾患モデル樹立による循環器病発症メカニズムの解明と治療法開拓」
- 西山 成 博士 香川大学
「腎内局所レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系の制御機構と病態への関与」
- 前田 法一 博士 大阪大学
「脂肪細胞特異的発現蛋白の機能解析」
- 平成 18 年度 岸 拓弥 博士 九州大学
「脳卒中易発症性自然発症高血圧ラット(SHRSP)の頭側延髄腹外側野(RVLM)における一酸化窒素および活性酸素の交感神経活動に与える影響について」
- 谷山 義明 博士 大阪大学
「難治性循環器疾患への新規治療法の開発」

中山 雅文 博士 熊本大学

「内皮型一酸化窒素合成酵素遺伝子変異の発見とその機能解析」

茂木 正樹 博士 愛媛大学

「高齢者の Quality of Life 改善に向けた他方面的アプローチ
特に神経障害・認知機能障害に対するレニン・アンジオテン
シン系に着目した神経保護・修復機構に関する検討」

平成 19 年度 井上 啓 博士 米・ソーク生物学的研究所

「肝臓の糖新生制御における IL-6/STAT3 の機能に関する研究」

竹下 享典 博士 名古屋大学

「血管細胞 Notch シグナルの作用と制御」

中神 啓徳 博士 大阪大学

「レニン・アンジオテンシン系を機軸とした骨粗鬆症と高血圧
の関連解析」

真下 知士 博士 京都大学

「ラット遺伝資源の基盤整備研究および新規疾患モデルラットの
開発研究」

水谷 健一 博士 米・ジョンズ・ホプキンス大学

「Noech シグナルによる神経幹細胞の分化制御機構の解明」

平成 20 年度 大石由美子 博士 東京大学

「転写因子 KLF5 の翻訳後修飾を介した新たなエネルギー代謝
調節機構の解明と新規治療法開発への応用」

親泊 政一 博士 徳島大学疾患ゲノム研究センター

「小胞体ストレス応答の破綻による糖尿病発症の発見」

出崎 克也 博士 自治医科大学

「グレリンによるインスリン分泌・血糖値調節機構」

徳留 健 博士 国立循環器病センター研究所

「循環調節ペプチドの病態生理的意義の解明およびトランスレ
ーションリサーチ」

西村 智 博士 東京大学

「生体内分子イメージング手法でみるメタボリックシンドローム
に伴う脂肪組織リモデリングと慢性炎症」

平成 21 年度 伊藤 浩司 博士 九州大学

「LVH モデルでの脳内 Na ハンドリング異常と交感神経活性に
関する研究」

菅波 孝祥 博士 東京医科歯科大学難治疾患研究所

「炎症性メディエータとしての遊離脂肪酸の分子機構の解明と
医学応用」

武田宏太郎 博士 九州大学

「低酸素応答系およびレニン・アンジオテンシン系の心血管系
での役割」

- 平島 正則 博士 神戸大学
「内皮細胞分化と血管・リンパ管形成に関する研究」
- 細岡 哲也 博士 神戸大学
「肥満およびインスリン抵抗性発症における Dok1 の役割に関する研究」
- 平成 22 年度 猪原 匡史 博士 京都大学
「血管性認知症モデルマウスの開発と応用」
- 金澤 英明 博士 慶應義塾大学
「心不全における心臓交感神経から副交感神経への分化転換の意義」
- 曾根 正勝 博士 京都大学
「幹細胞と心血管ホルモンを用いた血管再生・保護治療の探索」
- 平成 23 年度 植村 明嘉 博士 神戸大学
「網膜血管新生を制御する細胞間相互作用の解明」
- 武田 朱公 博士 大阪大学
「血管性危険因子によるアルツハイマー病病態修飾機序の解明」
- 山本英一郎 博士 熊本大学
「高血圧性血管内皮機能障害の新たな分子機序と心血管合併症における役割についての検討」
- 平成 24 年度 青木 友浩 博士 京都大学
「脳動脈瘤形成機構の解明」
- 稲垣 毅 博士 東京大学
「核内受容体による FGF 制御とエピゲノムを介した糖脂質代謝調節」
- 藤田 恵 博士 東京大学
「肥満関連高血圧における昇圧機序：中枢性交感神経亢進の原因究明」
- 平成 25 年度 泉家 康宏 博士 熊本大学
「骨格筋由来分泌因子を介した心血管疾患の制御機構解明」
- 久保田義頭 博士 慶應義塾大学
「腫瘍特異的な血管新生メカニズムの解明」
- 中司 敦子 博士 岡山大学
「Vaspin による VDAC/GRP78 経路を介した血管内皮細胞アポトーシスの制御」
- 平成 26 年度 柴田 茂 博士 帝京大学
「翻訳後修飾および蛋白質相互作用による新規血圧制御機構の解明」
- 堀江 貴裕 博士 京都大学
「心血管代謝疾患形成に関与するマイクロ RNA の機能解析」
- 平成 27 年度 遠藤 仁 博士 慶應義塾大学
「心臓リモデリングにおける ω -3 脂肪酸の心保護作用機構の解明」
- 金澤 雅人 博士 新潟大学
「脳梗塞急性期治療に対する血栓溶解療法後の出血合併症の抑

- 制および脳保護療法」
- 原 哲也 博士 神戸大学
「新規血栓イメージング法による病態解明と、新規治療戦略の
確立」
- 平成 28 年度 寺尾知可史 博士 米・ハーバード大学
「高安動脈炎の遺伝疫学的解析による病態解明と治療標的の同
定」
- 服部 頼都 博士 国立循環器病研究センター
「血管性認知症、大脳白質梗塞モデル動物の開発とその治療・
予防法の開発」
- 平成 30 年度 遠山 周吾 博士 慶應義塾大学
「代謝制御によるヒト iPS 細胞由来心筋細胞の大量作製とその
応用」
- 村松里衣子 博士 国立精神・神経医療研究センター
「血管系を介した中枢神経系の傷害と修復のメカニズムの研究」
- 2020 年度 白川 公亮 博士 新潟大学
「肥満と加齢に共通する免疫老化と加齢関連疾患の病態機序の
解明」
- 宮本 潤基 博士 東京農工大学
「腸内環境の変化と宿主エネルギー代謝調節機構の解明」

3. 井村臨床研究賞 (Clinical Research Imura Award)

- 平成 16 年度 松澤 佑次 博士 大阪大学名誉教授
「内臓脂肪とアディポサイトカインの概念確立を基盤とした生活習慣病の解明」
- 平成 17 年度 久山町住民を対象とした臨床疫学研究グループ
(代表 尾前 照雄 国立循環器病センター名誉総長)
「久山町住民を対象とした臨床疫学研究 (久山町研究)」
- 平成 18 年度 北村惣一郎 博士 国立循環器病センター
「冠動脈バイパスクラフト材としての内胸動脈の特性とそれに基づく適用拡大に関する臨床的研究」
- 平成 19 年度 馬淵 宏 博士 金沢大学
「コレステロール代謝異常性の分子機構の解明と治療薬の開発」
- 平成 20 年度 中尾 一和 博士 京都大学
「新規ホルモンの Translational Research」
- 平成 21 年度 橋本 信夫 博士 国立循環器病センター
「脳動脈瘤及び脳動静脈奇形の病態解明と治療法の開発」
- 平成 22 年度 上島 弘嗣 博士 滋賀医科大学
「我が国における循環器疾患の予防に関する疫学共同研究の推進」
- 平成 23 年度 大北 裕 博士 神戸大学
「胸部大動脈瘤手術における脳・脊髄保護」
- 平成 24 年度 福田 恵一 博士 慶応義塾大学
「心臓病のトランスレーショナルリサーチ」
- 平成 25 年度 小川 久雄 博士 熊本大学
「日本人における循環器疾患治療のエビデンス創出に関する臨床研究」
- 平成 26 年度 西川 哲男 博士 労働者健康福祉機構横浜労災病院
「原発性アルドステロン症診断・治療法確立と、その病態解明に関する検討」
- 平成 27 年度 大橋 靖雄 博士 中央大学
「臨床試験と疫学研究における生物統計学のわが国への導入普及と教育」
- 平成 28 年度 猿田 享男 博士 慶應義塾大学
「アルドステロンの基礎と臨床に関する研究および我が国の臨床医学研究推進への貢献」
- 平成 29 年度 伊藤 裕 博士 慶應義塾大学
「内因性生理活性物質補充によるエネルギー代謝制御と健康加齢の実現」
- 2019 年度 北村 和雄 博士 宮崎大学
「アドレノメデュリンのトランスレーショナルリサーチ」

2021年度 齋藤 能彦 博士 奈良県立医科大学

「超高齢化社会における健康加齢医学・医療の質の向上に貢献
する基礎的臨床的エビデンスの創出」

4. 井村臨床研究奨励賞 (Young Investigator Imura Award)

- 平成 16 年度 小川 佳宏 博士 東京医科歯科大学
「肥満遺伝子産物レプチンの臨床的意義に関する研究」
真鍋 一郎 博士 東京大学
「血管病態の転写調節機構の研究と治療応用」
吉村 道博 博士 熊本大学
「心不全におけるナトリウム利尿ペプチドとレニン・アンジオテンシン・アルドステロン系の病態生理学的意義」
- 平成 17 年度 今川 彰久 博士 大阪医科大学
「新しい疾患単位「劇症 1 型糖尿病」の確立」
後藤 信哉 博士 東海大学
「動脈血流条件下の血栓形成メカニズムの解明に関する研究」
松本 慎一 博士 京都大学
「膵島移植によるインスリン依存状態糖尿病の治療」
- 平成 18 年度 石坂 信和 博士 東京大学
「メタボリック症候群と早期動脈硬化病変の関連の検討」
曾根 博仁 博士 お茶の水女子大学
「2 型糖尿病患者の血管合併症に関する国際臨床疫学研究」
- 平成 19 年度 苅尾 七臣 博士 自治医科大学
「血圧変動性と早朝高血圧の臨床的意義と病態に関する研究」
田原 宣広 博士 久留米大学
「動脈硬化病変の活動性と治療効果に対して FDG-PET を用いた新しい判定法の開発」
- 平成 20 年度 大久保孝義 博士 東北大学
「家庭血圧・血圧変動に基いた循環器疾患の臨床疫学研究」
森田 啓行 博士 東京大学
「遺伝子解析技術を活用した循環器疾患の病因解明」
三浦 克之 博士 滋賀医科大学
「高血圧および動脈硬化性疾患の予防に関する疫学研究」
- 平成 21 年度 栗飯原賢一 博士 徳島大学
「新規動脈硬化抑制因子としてのヘパリンコファクター II の臨床的意義および分子生物学的解析」
荒木 信一 博士 滋賀医科大学
「糖尿病性腎症の寛解を目指した治療戦略の探索」
森 潔 博士 京都大学
「成人血管病における新規分泌シグナル Ngal の診断的治療的意義」
- 平成 22 年度 片上 直人 博士 大阪大学
「糖尿病大血管症ハイリスク群の早期診断と発症予防」
二宮 利治 博士 九州大学
「慢性腎臓病と心血管病に関する疫学・臨床研究」

- 森本 剛 博士 京都大学
「臨床疫学的手法を用いた心血管疾患に対する治療戦略」
- 平成 23 年度 浅原 哲子 博士 京都医療センター
「日本人肥満症における心腎合併症予防のためのアディポサイトカインの臨床的意義と減量治療効果に関する多施設共同研究」
- 舘野 馨 博士 千葉大学
「重症下肢虚血に対する血管再生治療の開発と、治療効果改善へむけた分子生物学的アプローチ」
- 吉永恵一郎 博士 北海道大学
「ポジトロン断層撮像による早期の冠動脈硬化病変診断法および心筋代謝障害診断法の開発から治療効果評価への応用」
- 平成 24 年度 岸田 堅 博士 大阪大学
「内臓脂肪蓄積学を基盤とした心血管疾患予防・治療対策の構築」
- 宮本 昌一 博士 財) 田附興風会医学研究所北野病院
「治療抵抗性狭心症患者に対して加速ベッドを使用した治療法の研究」
- 李 桃生 博士 長崎大学
「心血管再生治療」
- 平成 25 年度 加地修一郎 博士 神戸市立医療センター中央市民病院
「偽腔閉塞型急性大動脈解離における臨床経過、病態生理の解明」
- 福田 大受 博士 徳島大学
「動脈硬化発症における炎症、特にマクロファージ機能に関する研究」
- 渡部 裕 博士 新潟大学
「不整脈症候群と突然死の新たな機序の同定と個別化治療の確立」
- 平成 26 年度 朝野 仁裕 博士 大阪大学
「次世代ゲノム解析、次世代蛋白解析技術を利用した心血管エピゲノム解析による創薬標的分子探索研究」
- 家田 真樹 博士 慶應義塾大学
「心筋直接リプログラミングによる新しい心臓再生法の開発」
- 大野 聖子 博士 滋賀医科大学アジア疫学研究センター
「家族性突然死症候群における遺伝的背景の解明と治療への応用」
- 平成 27 年度 猪原 匡史 博士 国立循環器病研究センター
「心血管病を標的とする認知症の先制医療」
- 長船 健二 博士 京都大学 iPS 細胞研究所
「iPS 細胞を用いた成人血管病関連疾患に対する再生医療開発と病態解析に関する研究」
- 濱野 高行 博士 大阪大学
「慢性腎臓病 (CKD) 全ステージにおける CKD-MBD (ミネラル骨代謝異常)」

- 平成 28 年度 日下部 徹 博士 京都大学
「レプチンを用いた肥満症、糖尿病に対する新しい治療法の開発」
- 三田 智也 博士 順天堂大学
「2 型糖尿病患者における動脈硬化の発症進展のメカニズムの解明とその制御」
- 平成 29 年度 柴 祐司 博士 信州大学
「多能性幹細胞を用いた心筋再生研究」
- 田中 智洋 博士 名古屋市立大学
「健康長寿の基盤としてのホルモン-栄養素間相互作用の研究」
- 2019 年度 今村 輝彦 博士 富山大学
「重症心不全に対する集学的な治療戦略の構築」
- 多田 隼人 博士 金沢大学
「ヒトゲノム情報に基づく心血管疾患個別化医療に関する研究」
- 2021 年度 有馬勇一郎 博士 熊本大学
「成長・加齢及び病態に伴うケトン体代謝の変化とその意義」
- 寺尾知可史 博士 理化学研究所
「老化・血管障害に関連する末梢血クローン性増殖と高安動脈炎における臨床応用につながる遺伝学的解析」